

タイ遠征 2018年9月4日(火)～11日(火)

多摩大学体育会フットサル部 マネージャー 3年生 小野佳奈恵

今回、私は、フットサル部のマネージャーとして、チーム強化を目的にタイ遠征に行ってきました。

日本とは環境が違い、英語が通じなかったり、好き嫌が多い私は食べられるものが限られたりと苦労しました。またフットサル面では、相手のフィジカルの強さや慣れないコートでのトレーニングマッチで選手たちは大変難しかったのではないかと感じました。



道路には車・バイクが本当にたくさん走っていて車線変更は無理矢理だし、バイクはヘルメットを被らないで3人乗りなんて普通だったし、時には4人、5人で乗っていました。(写真)

トイレではペーパーを流してはいけなくて、日本の便利さに気づきました。食事はショッピングセンターに日本食屋さんが沢山ありました。タイ料理ではガパオライスがとても美味しかったです。(写真)



私は選手たちのサポートとして一緒に行きましたが、何もできなかったと思います。海外遠征で何をしたらいいか分からず、ずっとビデオ撮りっぱなしでした。私は見ているだけだから好き放題言えるだけですが、大学日本一になるにはまだまだと感じました。今回タイで対戦した相手が強かったかもしれないけれど、勝ったからと言って満足したら強くないと思いました。(写真)





自信をもつことは大切だけど、もっと上を目指しているのであるなら自分を含め、厳しく頑張っていけないといけないと思いました。十分みんなが頑張っていることはわかっているからこそ、大学日本一を取りたいと遠征に行き改めて思いました。



今回の遠征では、自分たちで行動しなくてはならなかったのが、大変な部分もありましたが良い経験となりました。また後輩たちとも話す機会が多く仲良くなれた気がします。

オフの日には有名な水上マーケットに行き、人生で初めてのゾウに乗りました（写真）。水上マーケットでは現地の方々が暮らしているところや、一生懸命商売しているところを見て自分が普段どれだけ幸せなのかと感じました（写真）。また市内の夜では道路に小学生くらいの一人の男の子が手作りのお花を頑張って売っていました。そんな中でも、タイの人たちは優しくて元気で幸せそうでした。すごく考えさせられました。



今回の遠征で学んだ事、感謝を忘れずに頑張っていきたいと思います。また機会があれば大学在学中に他の国にも行ってみたいと思いました。そして何より、絶対に来年大学日本一を取ります！！

